



a toxics-free future

水俣：日本政府及びチッソへの問い 2013年10月

はじめに

1932年から1968年の間に、チッソは、同社の化学工場からの廃水中に含まれる推定75～100トンのメチルマーキュリーを水俣湾に放出し、それは魚や魚介類に生物蓄積した。水俣の住民は、危険であるということを知らずに同湾や不知火海の魚や魚介類を食べ、その結果広範に水銀中毒が引きこされた。数万人の人々が影響を受けた。水銀中毒の症状には；運動失調、手足の痺れ、筋力の低下、視野狭窄、聴覚及び言語障害などがある。ひどい場合には、まひ、こん睡、そして死にいたる。水銀は胎盤を通過し、胎児に影響を及ぼす。

水俣病が最初に診断されてから50年以上経過したのに、いまだに問題が残っている。

なぜ包括的で体系的な健康調査が行われないのか？

数千の人々が大きな打撃を及ぼすこの病気に苦しみ、多くの人々が死んだのに、水俣地域における包括的で体系的な健康調査は行われておらず、したがって影響を受けた人々の数もわからない。たとえば、認定されることなく死んでいった人々の数、地域における差別を恐れて病気のことを明らかにしなかった、あるいはできなかった人々、そして生まれてくる前に死んでしまった胎児などについての体系的な記録は存在しない。

なぜ信用できない認定基準が補償を拒絶するために使用されているのか？

水俣病患者として公式に認定された人は、2011年現在、2,273人であり、数万人の人々がメチル水銀中毒の神経学的症状の特徴持っているのに、公式には水俣病患者とは認定されていない。約65,000人の人々が水俣病救済を求めて政府に申請したⁱ。

政府が水俣病の認定のために一貫して利用してきた診断基準は、日本精神神経学会（JSPN）により1998年に医学的根拠がないと判定され（JSPN, 1998）、2004年に最高裁により根拠がないとの判断が示された（McCurry, 2006）ⁱⁱ。2013年2月、朝日新聞は、環境省は水俣病の認定を阻止するために医師に法廷で虚偽証言をするよう繰り返し要請していたⁱⁱⁱ。2013年最高裁判決は、水俣病の全ての人々が政府により求められる症状を発現していたという科学的証拠はなく、個人の生育歴を含む証拠を検証することにより水俣病被害者として個人を認定する余地があると言及した。それにもかかわらず、政府はこの基準を変えようとしなかったⁱⁱⁱ。

政府の水俣病診断の認定がなければ、患者は補償を適切に受けることができない。

なぜチッソはその行動に対する責任をとっていないのか？

当初から、チッソは政府の支援を受け、その放出による水銀中毒を制限するための意味のある行動を拒否し、言い逃れ、遅らせ、阻止した。2009年、日本政府は、水俣病の責任を制限するために、チッソを二つの会社に分離することを許した。この新しい法律は水俣病認定基準のどのような見直しをも確立せず、また汚染地域の住民の健康を厳密に調査するためのプログラムも確立していない^{iv}。

いつ、汚染場所は完全に浄化されるのか？

水俣湾から浚渫された 25ppm 以上の水銀で汚染された約 150 万 m³ のヘドロが、どのような水銀除去も行われることなく、“暫定的に” 30 年以上水俣湾に接する埋立地に置かれている。この場所は、地震にも津波にも脆弱であり、護岸の鋼矢板セルの寿命は約 40 年～50 年である。もう一つの汚染場所である八幡残渣プールもまた浄化されていない^v。

水俣で、次に何が起きるのか？

必要なこと

日本政府は、“水俣の悲劇が世界中のどこでも再び起こることがないようにするために”、水銀条約交渉中に積極的に参加すると約束した。外交会議における代表者らは、水俣の被害者らは“長期間にわたり被害を受け”ており、“国際社会は水俣の経験と水俣からの教訓を学ぶべきである”と述べている“日本政府への賛辞”と題する決議を行うことを計画している。しかし、国際社会は何を学ぶべきなのか？ここに日本が自国の水俣でとる必要がある行動を示す。

- 全ての被害者を認定し保障すること
- 水俣湾周辺の汚染地域を完全に浄化すること
- 汚染サイトを修復して元に戻すための、及び被害者に対する汚染者責任
- 影響を受けた地域での包括的で体系的な健康調査
- 水銀輸出を禁止すること。日本は 100 トン近くの水銀を主に開発途上国に輸出し続けている。

ⁱ http://ajw.asahi.com/article/behind_news/social_affairs/AJ201208310066

ⁱⁱ http://ajw.asahi.com/article/behind_news/social_affairs/AJ201302270059

ⁱⁱⁱ <http://www.japantimes.co.jp/news/2013/04/17/national/supreme-court-recognizes-woman-as-minamata-victim/>

^{iv} <http://www.japantimes.co.jp/news/2009/07/09/national/new-minamata-relief-law-enacted/#.Uj3VsjGCgdU>

^v http://www.ne.jp/asahi/kagaku/pico/mercury/Shiryou/Contaminated_Sites_in_Minamata_en.pdf